



環境省が、東日本大震災津波の復興支援として整備を進めてきた長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」(全長約 1,000 キロ) が 6 月 9 日 (日)、全線開通しました。

「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市の蕪島(かぶしま)から福島県相馬市の松川浦までの太平洋沿岸を一本の道でつなぐ「歩くための道」で、東北太平洋沿岸ならではのダイナミックな海、川、里、森などの美しい景観に富んだコースがあります。

沿線には、同トレイルを歩くハイカーの旅をサポートする施設もあり、その土地ならではの暮らしや文化に触れることができます。

また、津波の痕跡といった自然の脅威を目にすることで、自然がもたらす豊かさと厳しさの両面を感じることができます。

沿線各地では、「みちのく潮風トレイル」の全線開通を記念し、2020年3月までウォークイベントが開催されています。

問い合わせ ■ みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター
☎ 022-398-6181

休館日 ■ 火曜日・年始

ホームページ ■ <https://www.mct-natori-tc.jp/>



みちのく潮風トレイルのルートに含まれる景勝地
写真左:北山崎(田野畑村) 写真右:浄土ヶ浜(宮古市)



連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介していきます。

第96回は、楠田 拓郎さんを紹介します。

誇りを持って地域で暮らす

楠田さんは、東京で勤務した後、日本一周の旅をする中で旅行客を受け入れる側になりたいと感じ、2006年に田野畑村へ移住しました。

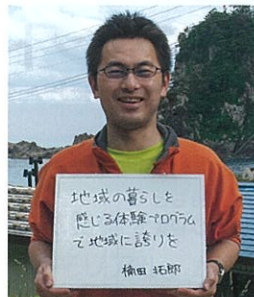
「受け入れ側としての仕事を考えた時、ホテルやお土産屋、食堂などの仕事は東京でもできますが、地元の漁師さんや農家さんなど、人と触れ合うことができ、自然に詳しい人がネイチャーガイドとして活動している田野畑村に魅力を感じました」と、移住のきっかけを話します。

楠田さんが理事長を務める NPO 法人 体験村・たのはたネットワークは、田野畑村の机浜番屋群に拠点を置き、「サップ船アドベンチャーズ」をメインに地域に密着した体験プログラムを提供しています。

番屋群は震災の被害を受けましたが、自然と



NPO 法人
体験村・たのはたネットワーク
理事長
楠田 拓郎
(くすだたくろう) さん



地域の暮らしを感じる
体験プログラムで
地域に誇りを

の調和を大切にしてきた漁村文化を残そうという地元の思いを受けて 2015 年に再建されました。「地域の営みを守っていくこと、誇りを持って地域で暮らしていけることが重要だと思います」と楠田さんは話します。

田野畑村の観光拠点として

「他の市町村に比べれば田野畑はハード面での復興は早かったと思います。机浜は昨年からは海水浴場も再開し、「海の観光といえば机浜」と周知されてきているので、人気のサップ船だけでなく、海水浴と絡めたアクティビティを提供していきたい」と話す楠田さんは、地域の財産である「机浜番屋群」を中心とした体験型観光に力を注いでいます。

PROFILE

東京都出身。
大学を卒業し東京で勤務した後、2006年12月に田野畑村に移住した。
現在、NOP 法人体験村・たのはたネットワークの理事長として、観光客への体験プログラムを企画し提供している。

岩手県の被害状況

令和元年 6 月 30 日現在

- ▶ 人的被害 死者(直接死): 4,674 人 行方不明者: 1,113 人
死者(関連死): 469 人
- ▶ 建物被害(住家のみ、全半壊) 26,079 棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#) [検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

令和元年 6 月 30 日現在

- ▶ 義援金受付状況 約 186 億 9,418 万円 (96,809 件)
 - ▶ 寄付金受付状況 約 200 億 963 万円 (9,031 件)
 - ▶ いわての学び希望基金(※) 受付状況 約 98 億 6,570 万円 (23,355 件)
- ※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ~希望~
約 24 万点の資料を検索・閲覧できます。

[いわて震災津波アーカイブ](#) [検索](#)



いわて復興だより [Web](#)

一部ニュース、いわてさんりくびとを動画で紹介しています。
ビジュアル豊富な Web もご覧ください。

